

青少年育成委員会

薬物乱用防止委員会

薬物乱用防止活動とは

薬物乱用問題の深刻化が急速に進んでいます。アメリカでは特に深刻なフェンタニル（ゾンビ麻薬）問題は周知のとおりです

薬物乱用が引き起こす被害は大きく分けて2つ。

- 1) 脳をはじめとした身体的な被害
- 2) 薬物依存に陥ることにより、高価な薬物入手し続けるために犯罪行為に及ぶ

薬物乱用を防止するために、正しい知識を普及させることが最も重要。地域に根ざした活動を行うライオンズクラブがその役割を果たすのです。



薬物乱用防止教室とは

薬物乱用防止問題への対策

- 1) 正しい知識の普及により未然防止の徹底を図ること
- 2) 行政当局による、不正取引や乱用の取り締まり
- 3) 依存症患者に対する回復支援

ライオンズクラブの実施する薬物乱用防止教室では主に1)の活動

薬物乱用防止教室の意義

なるべく若年層を対象に、正しい知識を啓発することが大事です
そのため、文科省からは以下の通達が出されています



対象：小学校5・6年、中学校、高等学校

頻度：年間1時限

目的：子供達に薬物についての正しい知識を与え、薬物を決して乱用してはならない、という知識を啓発すること

認定講師



文科省は年間1時限の薬物乱用防止教室を、外部の専門講師を招いて実施するように通達しています
薬物乱用防止教室の開催は、認定講師が行います

認定講師の役割は、子供たちに薬物の危険性を伝え健康を守る大切さを教える事です

認定講師の資格保有者は、外部講師として警察官、保健所、学校薬剤師などが中心でした。しかし近年では、ライオンズクラブのメンバーが認定講師資格を保有し、各地域のボランティアとして全国各地で薬物乱用防止教室を実施しています

認定講師は内閣府・厚生労働省・警察庁・文部科学省の後援を受けています
つまり、国から認可された資格なのです

また、認定講師には『ゴールド』のステージがあります
数年わたり年間数回の教室開講の実績があり、所属クラブ会長のサインがあれば
ゴールド認定講師になります

私たちの活動意義



外部講師の意義は、ライオンズクラブ会員となり得る人材による、専門知識を交えて講演する事により、効果的に伝えることが出来ます

1997年から実施されているライオンズによる薬物乱用防止教室は、学校側が『薬物乱用は薬物と犯罪の問題』と捉えられていたために、薬剤師でもなく警察関係者でもないライオンズによる講師は断られることもありました。『寝る子を起こすな』の考えも濃くありました

しかしながら、この活動の意義は未だ薬物乱用に手を染めていない子供に、一度でも乱用をしては『ダメ。ゼッタイ。』を啓発する事にあります。

人生で多くの経験をしてきているライオンズの認定講師が、人生の指針を与えつつ薬物乱用の害を教える。これは大変に大きな意味をもつのです

